

研究室 からの メッセージ

131

左から 三森, 小林, 梅田,
麻原, 小野, 永井

Data(2015年10月現在)

所在地: 〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
スタッフ: 麻原きよみ(教授), 小林真朝(准教授), 小野若菜子(准教授), 梅田麻希(准教授), 三森寧子(助教), 永井智子(助教)
URL <http://slcnchn.umin.jp/chn/top.html>



聖路加国際大学看護学部 保健医療福祉連携における看護領域 地域看護学・公衆衛生看護学教室

History and Now

どのような機関なのでしょう？

1920(大正2)年に創立された本学は、看護のパイオニアとなる人材を先駆的に育成し、実践・教育・研究を通して日本の看護の水準向上に貢献してきました。1927年(昭和2)年に設置された聖路加国際病院の公衆衛生看護学部の活動は、保健師活動のモデルとなり、同年には本学で公衆衛生看護教育が始まりました。近年では、アクティブラーニングなどの新しい教育アプローチや国際化の推進に取り組んでいます。2015(平成27)年度には、修士課程で公衆衛生看護学上級実践コース(保健師国家試験受験資格取得)を開設しました。

Education

どのような教育をしていますか？

「自分自身で考え創造する」力を伸ばす講義・演習や、さまざまな現場での実習を通して、現場で直面する課題に柔軟に取り組み、リーダーシップを発揮できる人材を育成しています。大学院では、博士および修士論文コースの学生と上級実践コースの学生がともに学び、研究結果を現場に生かす能力と、現場の問題を研究の中で探究する能力を育みます。公衆衛生看護学上級実践コースでは、「公共哲学・保健医療福祉システム」や「公衆衛生看護の倫理」など、社会のニーズに応える新たな学問・実践テ

マについて、第一線で活躍する学内外の講師とともに、ディスカッションを中心とした授業を展開しています。

Research

どのような研究をしていますか？

私たちがめざしているのは、地域の人々の健康と安寧、それを支える保健師の実践に役立つ研究を行うことです。そのため、研究テーマは多岐にわたり、公衆衛生看護や在宅看護をはじめとするさまざまな学問領域の概念やモデルを活用しています。現在行っている研究には、「保健師の活動と放射線」「『公衆衛生看護の倫理』教育モデル構築と検証」などがあります。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

国や地方公共団体のプロジェクトにメンバーとして参加したり、現場の保健師と一緒に活動の評価や新たな実践の開発、および協働研究を行っています。大学院には現場での実践を継続しながら勉強をしている学生も多く、学生の教育・研究活動を通じて、現場の保健師と経験や知識を共有しています。現場は学問に先行し、現場で直面する問題の解決策は現場にあります。私たちはそれを深く認識し、現場での課題や解決策を目に見える形にしていける役割を担いたいと考えています。

ひとこと

保健師活動の本質を捉えたうえで、しかし、「こうすべき」という現実の枠組みから解放される勇気を持ちましょう。きたる1月23、24日に、一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)で第4回日本公衆衛生看護学会学術集会を開催します(学術集会長:麻原きよみ)。現場の保健師が多数参加します。皆様もぜひご参加ください。
……麻原

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話, FAX, E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp